



【韓国】 総合指数は週間で4.3%安と4週ぶり反落、コロナの感染再拡大を懸念

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で4.3%安と4週ぶりに反落した。17日は光復節からの3連休で休場のため、4日間の取引。国内で新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、経済活動の停滞への懸念から売り優勢の展開。休場明けの18日に2400ポイントをあっさり割り込んだ。19日は前日の米ハイテク株高を支えに小反発したものの、20日は前日比3.7%安と約2カ月ぶりの下落率を記録。2300ポイントを下回り、約2週間ぶりの安値で引けた。米中対立の先鋭化による需要の減少も懸念され、サムスン電子やSKハイニクといった半導体株の下げがきつかった。21日は自律反発を狙った買いが入り、2300ポイントをかろうじて回復して週を終えた。今週も国内の新型コロナ感染状況が注目される。27日に韓国基準金利が発表される予定。

▼指数チャート

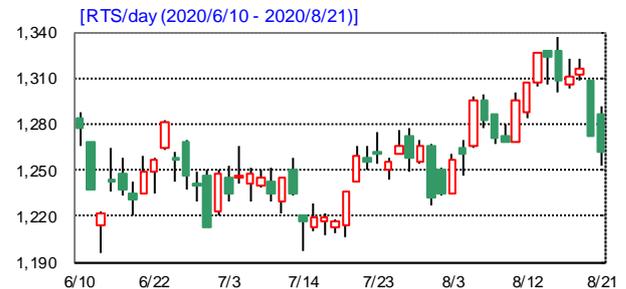


【ロシア】 RTS 指数は4.7%安と3週ぶり反落、ベラルーシ巡る地政学リスクが重し

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で4.7%安と3週ぶりの大幅反落。隣国ベラルーシの政治的混乱を受け、対ロシア制裁への懸念から通貨安、株安が進んだ。ベラルーシの大統領選でルカシェンコ氏が勝利を宣言したことで政治的混乱が続く中、ルカシェンコ氏を支援するロシアに対する欧米の経済制裁懸念が強まった。RTS 指数は17日に前週末比1.1%安と下落し、20日はブレント原油の下落を背景に3.3%安と下げ幅を拡大。ドルに対するルーブル安もドル建ての指数を押し下げた。個別では産金のポリュスが1%超上昇したが、エネルギーのタトネフチが7.0%安、ノバテクが5.0%安、ガスプロムが4.3%安となり、金融のズベルバンク・オブ・ロシアも3.7%下落した。今週はベラルーシを巡る地政学的リスクが引き続き重し。

▼指数チャート



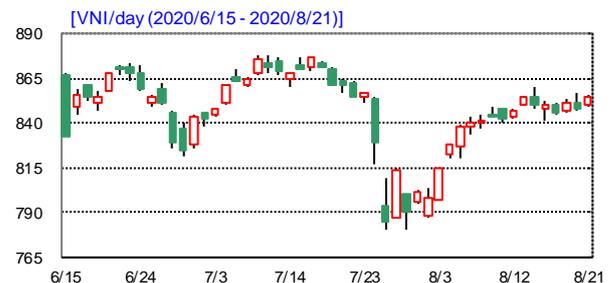
【ベトナム】 ベトナム指数は0.5%高と3週続伸、今週は米株をにらんでもみ合う展開

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.5%高と3週続伸。狭いレンジでもみ合ったが、米ナスダック総合指数の堅調な動きや為替市場でのドル安が支援となった。米国市場でアップルなどの主力ハイテク株が上昇し、ナスダック総合が史上最高値更新を続ける中、ドル高の流れが一服し、東南アジア市場全般でリスク選好がやや強まった。ベトナムでもVN 指数は週明けから20日まで狭いレンジでもみ合ったものの、21日に前日比0.8%高で引け、週間でもプラス圏で取引を終えた。個別では、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が2.9%安となった一方、金融のベトインバンクが3.4%高、テクコムバンクが2.8%高、時価総額トップのベトコムバンクも1.1%高となり、指数を押し上げた。今週は米国株市場の動きをにらみながらもみ合う展開か。

▼指数チャート



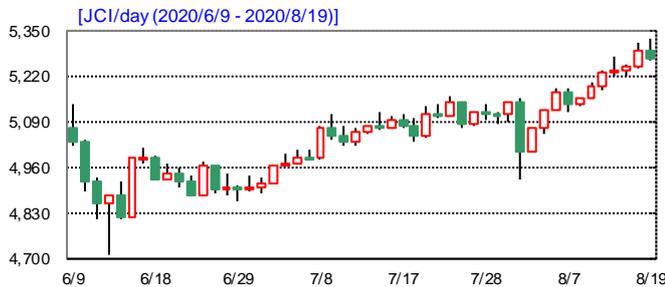


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%高、来年の経済成長率目標は 4.5-5.5%

ジャカルタ総合指数は 2 日間の取引で 0.5%高と続伸。前週の勢いを引き継ぎ、おおむね堅調に推移し、5300 ポイントを挟んでもみ合った。連休明けの 18 日は、前週末にジョコ大統領が発表した 21 年の予算案で、経済成長率の目標値が 4.5-5.5%に設定されたことが買い材料となり、指数は 6 営業日続伸。一方、19 日は中央銀行が政策金利を 4.0%に据え置くと、前日までの上昇基調から下落に転じ、反落して連休前の取引を終えた。今週は国内の経済指標発表が少なく、段階的な行動制限の緩和が順調に進めば株式相場の追い風か。外部要因では 27 日発表の中国の 7 月の工業部門企業利益が意識されそうだ。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.0%安、今週は 7 月の鉱工業生産に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.0%安と 3 週ぶりに反落。前週末から下げ止まらず、さえない値動きが続いた。週初の 17 日は、政府が新型コロナウイルス対策として、80 億シンガポールドルの追加支援策を発表したほか、7 月の非石油地場輸出が市場予想から上振れしたものの買い材料視されず、指数は続落。その後も売り優勢の展開が続くと、20 日は前日に公表された米 FOMC 議事要旨を受けて、米国経済の回復に対する懸念が広がり、指数は終値で前日比 1.3%安と 5 営業日続落した。ただ、21 日は小幅に反発して引けている。今週は 24 日の 7 月の CPI に続き、26 日には同月の鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート

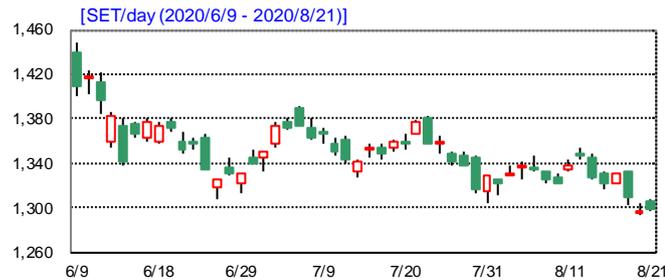


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.1%安、4-6 月期の GDP は前年同期比 12.2%減

SET 指数は週間で 2.1%安と反落。軟調な値動きが続き、週後半には終値で節目の 1300 ポイントを割り込んだ。週初の 17 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 12.2%減と 1998 年 4-6 月期以来の大幅な落ち込みとなった影響で続落。18 日は反発したが、19 日は金融株とエネルギー株が下げを主導し、指数は終値で前日比 1.6%下落した。20 日は前日に反政府集会で王室改革を訴えた人権派弁護士が逮捕されたことを受けて幅広い銘柄が売られ、終値で約 3 カ月ぶりの安値を更新したが、21 日は小幅に反発している。今週は 24 日の 7 月の貿易統計（通関ベース）に続き、26 日には同月の鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%高、今週は 28 日に 7 月の貿易統計発表

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.8%高と 3 週ぶりに反発。一進一退の値動きだった。週初の 17 日は買い材料に乏しく続落したが、18 日は反動で買い戻され、指数は終値ベースで前日比 1.1%高と 3 営業日ぶりに反発。21 日は祝日前の 19 日にクルーズ船を運航するゲンティン香港が債務返済の停止を発表した影響で、ゲンティン系 2 社が売られたものの、ゴム手袋メーカーのトップ・グローブとハルタレガが買われ、指数は小幅に反発して取引を終えている。今週は 28 日に 7 月の貿易統計が発表される予定。ゲンティン・グループやマレーシア・エアポートの 4-6 月期決算の内容も意識されそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。